

個 別 の 人 権 課 題		北朝鮮当局による拉致問題等		
校 種	小学校	本時に関わる 3つの側面	知 識 的 側 面	◎
対 象 学 年 等	第6学年		価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	○
教 科 等	社会科		技 能 的 側 面	○
单 元 名	新しい日本へのあゆみ			

1 単元の目標及び計画

(1) 単元の目標

戦後我が国が民主的な国家として発展し、国民生活を向上させてきたことに着目して、資料を調べまとめ、平和な国際社会の実現に向けて我が国が果たしている役割などについて考え、表現するとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基にこれから国際社会がさらに発展するために必要なことを考えようとする態度を養う。

(2) 単元の計画

- 1次・・・新しい国づくり
- 2次・・・国際社会のなかの日本（本時を含む）

2 学習指導要領等の該当箇所

小学校学習指導要領・第2章・第2節社会・第2各学年の目標及び内容・[第6学年]

2 内容

- (2) 我が国の歴史上の主な事象について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身につけること。その際、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、大まかな歴史を理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解すること。
- (ア) 日中戦争や我が国に関わる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピック・パラリンピックの開催などを手掛かりに、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し、国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことを理解すること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (イ) 世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現すること。

また、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説社会編」の第3章第4節の「第6学年の目標及び内容」では、「（中略）さらに、自然災害からの復興、少子高齢化の問題、環境問題、日本人拉致問題、領土問題など、国内外に残されている課題等にも触れ、これから国際社会における我が国の在り方について考えるようすることも大切である。」と示されています。

3 本時の目標

戦後の国際社会の発展のために日本が果たしてきた役割を理解するとともに、解決していない課題に対して日本ができることなどを考え表現する。

4 人権教育との関わり

この単元では、戦後の日本国憲法の制定、経済の発展、オリンピックの開催などについて調べ、我が国が、第二次世界大戦後に民主的な国家として出発したことや、国民生活が向上し、国際交流や国際貢献の面で重要な役割を果たしてきたことなどについて学習する中で、個別の人権課題の一つである「北朝鮮当局による拉致問題等」を取り扱います。「北朝鮮当局による拉致問題等」は日本の主権及び国民の生命と安全にかかわる重大な問題であり、国際社会が協調してこの問題を解決していく必要があることについて理解させるとともに、問題の解決に向けて国際社会の中で日本が果たすべき役割を考察することも大切にしています。

5 本時で育てたい3つの側面

知 識 的 側 面	自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解 人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
価 値 的 ・ 態 度 的 側 面	人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度
技 能 的 側 面	人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能

6 本時の学習過程

学習過程等	人権教育との関わり等	資料等
<p>・戦後、日本国憲法が施行され選挙法が改正されるなど、日本が民主的な国として出発したことを確認する。</p> <p>・東京2020オリンピック・パラリンピックのマスコットを見せながら、過去にも東京でオリンピックが開催されたことを紹介し、本時の学習への関心を高める。</p> <p>【課題】戦後、日本は国際社会の中でどのような役割を果たしてきたのだろう。</p> <p>■学習活動</p> <p>【高速道路建設、オリンピック東京大会、日本万博博覧会など1960～70年代の日本の写真を見て、気付いたことや感じたことを出し合おう。】</p> <p>(例)いろいろな施設が作られたり大きな大会が開かれたりしている。</p> <p>(例)たくさんの国々から多くの人々が日本にやってきた。</p> <p>(例)戦後からわずか20年でこれほど大きな大会を開けるのは復興したことの証だと思う。</p> <p>・戦後、日本は経済を発展させ、国民生活を向上させて先進国の仲間入りを果たしたことを確認する。</p> <p>■学習活動（グループ）</p> <p>【戦後の国際社会の中で、日本はどのような役割を果たしてきたのか調べ、話し合おう。】</p> <p>・教科書にある写真などの資料を見て考えさせる。</p> <p>(例)スポーツや科学の分野で世界に貢献している。</p> <p>(例)O E C Dに加盟し、発展途上国に経済援助をしている。</p> <p>(例)中国や韓国と国交を結んだ。</p> <p>・諸外国と連携しながら、日本は様々な分野で国際社会に貢献してきたことをまとめると。</p> <p>【まとめ】戦後、日本は民主的な国として出発し、経済を発展させて国民生活を向上させながら、国際社会の中で大きな役割を果たしてきた。</p>		<p>○資料「選挙で投票する様子」（教科書）</p> <p>○資料「東京2020オリンピック・パラリンピックマスコット」</p>
<p>■学習活動</p> <p>【引き続き取り組んでいかなければならない問題にはどのようなものがあるのだろう。】</p> <p>(例)地球環境問題や拉致問題は未解決ではないか。</p> <p>【拉致問題とはどのような問題なのだろう。】</p> <p>・アニメ「めぐみ」を一部視聴し、拉致問題の概要を知る。</p> <p>・拉致被害者は日本人以外にもおり、関係諸国が連携して解決すべき問題であることを確認する。</p> <p>・拉致被害者家族は北朝鮮の一般の人々に対して恨みの気持ちをもっているわけではないことを確認する。</p> <p>・救う会全国協議会のブルーリボンの取組を紹介する。</p> <p>青色は、日本と北朝鮮を隔てる「日本海の青」を、また、被害者とその家族を結ぶ「青い空」をイメージしている。</p> <p>(例)国際社会の発展に向けて、これらの課題を解決していくためにはどのような取組が必要か、次の授業で考えよう。</p>	<p>【知識的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解 ・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拉致問題は日本の主権と国民の生命と安全に関わる重大な問題であることを確認する。 <p>【技能的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北朝鮮に住む一般の人々や在日朝鮮人の人々への批判的な見方につながるなどの新たな差別を生まないように留意する。 <p>【価値的・態度的側面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度 <p>【指導上のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拉致問題の解決に向けて様々な人々が主体的に取り組むことが大切であることを確認する。 	